

2025 年度 総合研究所特別研究員 研究活動報告

氏名	筒井 大祐
研究テーマ	蒙古襲来を画期とした文学形成の基礎的研究
研究概要	本研究課題では、蒙古襲来という対外的な事件を成立基盤とした文学作品の形成を、九州地方の寺社縁起類や八幡縁起類を中心に検討する。本研究課題により、中世の神功皇后伝承のあり方や、それと結びついた八幡縁起類の生成や展開などを究明する。

1. 研究活動の概要と研究成果	<p>今年度は、兵庫県丹波市柏原八幡宮に現存する新出の八幡縁起絵巻の位置付けを検討した。柏原八幡宮本の八幡縁起絵巻を八幡縁起絵巻の諸本と比較して、論文を『佛敎大学総合研究所紀要』に投稿、掲載できた。</p> <p>併せて、紙幅の関係で昨年度は上巻部の紹介であった、山梨県身延町身延山久遠寺身延文庫所蔵の日意書写本『八幡愚童訓』の下巻部の翻刻を公刊した。その他、研究テーマを進めるために、昨年度に収集した八幡縁起類の内容検討なども行った。</p>
2. 学術論文・学会発表等	<p>[論文等]</p> <p>単「柏原八幡宮本『八幡大菩薩御縁起』考—八幡縁起絵巻の諸本展開—」『佛敎大学総合研究所紀要』第33号、学術論文、pp. 1~14、佛敎大学総合研究所（2026年3月、査読有）</p> <p>単「翻刻 身延山久遠寺身延文庫所蔵日意書写本『八幡愚童訓 上』『八幡愚童訓 下』」『京都語文』第33号、pp. 257~272（2026年2月、査読有）</p> <p>[発表]</p> <p>単「佛敎大学 Open Research Weeks2025」ポスター展示、2025年11月1日~11月28日、佛敎大学紫野キャンパス1号館1階、二条キャンパス1号館1階</p>
3. 今後の課題	<p>今年度に、身延文庫所蔵日意書写本『八幡愚童訓』の全冊を翻刻できたので、この成果を基に『八幡愚童訓』自体に関する研究を進める。また、これまで収集した八幡縁起類に関わる資料の内容分析や『八幡愚童訓』などとの関連も考察したい。</p> <p>今後も『八幡愚童訓』を中心として、八幡縁起類を包括的に取り上げ、蒙古襲来を画期として成立した文学作品の成立基盤や展開に関する研究を行う。</p>